

QCCダイジェストin福井

2023年度
QCサークル春季研修会 号

開催日：2023年 5月19日（金）
発行元：QCサークル北陸支部福井地区事務局



春季QCサークル研修会開催

2023年度QCサークル春季研修会が、5月19日（金）福井市きらら館にて開催されました。今年度は、福井地区の企業10社 63名の方が受講され、地区役員・幹事17名によって運営されました。はじめに、福井地区 日置地区長より「今回は、3年振りとなる対面開催となります。指導者との対面学習は、より理解が深まることができ、また、異業種間交流によって他社の良い点や違った考え方を学ぶことが出来ますので、今日一日、積極的に他社の方々とのコミュニケーションを取って、実のある研修会としてください。社会全体ではDX推進が広がっていますが、その集めたデータを解析し活用するのは人になります。是非、QCサークル活動を通して現場での観察力や要因解析力を身に付け、自社の問題解決に繋げていただきたいと思います。」と挨拶を述べました。その後、総司会より当日の注意事項などが伝えられ、各コース会場に分かれての研修が始まりました。



開会挨拶：日置地区長
日華化学(株)



開会式 受講者のみなさん

開催コースについて

【初級コース】 品質管理・QC7つ道具の概要を理解し、与えられたテーマからパレート図と特性要因図を作成し対策案までまとめる

【中級コース】 ジグソーパズルを使いQC的問題解決手順に沿って特性要因図を基に系統図を完成させる実践型研修

今回ご参加頂いた企業（順不同）

日本ゼオン株式会社 敦賀工場
株式会社 ミツヤ
株式会社 櫻川ポンプ製作所
株式会社 TOKO
信越化学工業株式会社 武生工場
揚原織物工業株式会社
株式会社 金津技研
株式会社 アイシン福井
株式会社 日本イー・エム・シー
日華化学株式会社

多数のご参加、ありがとうございました！



問題解決型QCストーリー 初級コース

初級コースでは、41名がQCサークルの基本について講義形式で学んだ後、6グループに分かれ、与えられたテーマに対しパレート図と特性要因図を作成して、対策案までをまとめました。

講義では、「品質管理とは？」「QCっていったい何？」といった初歩的な項目から、QCサークル活動の進め方の基本や心構えなどの説明に対し、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



講師：小杉幹事
(株)日本エー・エム・シー



グループでの特性要因図の作成では、どのグループの参加者も積極的に意見を出し、活発な議論がなされていました。



その後各グループとも力を合わせて対策をまとめ上げ、個性あふれる成果発表を行い、最後に世話人から講評を交え、一人一人に修了証が手渡されました。



講評：田辺世話人

参加者からの声

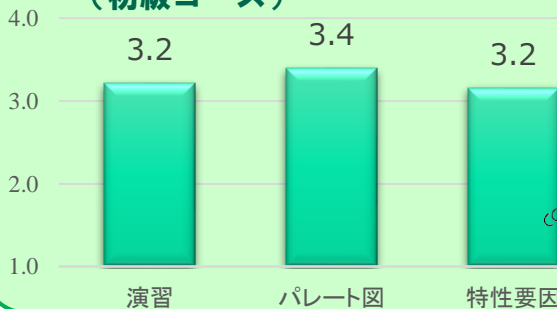
「入社したばかりでQCに関するイメージが曖昧なものでしたが、研修の中で実践的なトレーニングを行うことでイメージが具体的なものになりました」

(株)日本エー・エム・シー K様

「問題解決の術を身に付けることが出来たのでこれから職場で活かしていこうと思いました」日本ゼオン(株) N様

アンケート結果：理解度の平均 (初級コース)

n=41



問題解決型QCストーリー 中級コース

中級コースでは、QC7つ道具の中でも特に特性要因図と系統図の作成手順について講義で学び、ジグソーパズルを使いながら、問題解決型のQCストーリーに沿ってQCサークル活動を実践していきました。

このコースには、実際に自社のQCサークルの第一線で活動している方など、22名の方に受講していただきました。



講師：加藤世話人
(株)福井村田製作所



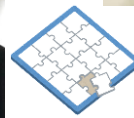
講義後は3グループに分かれ、制限時間15分で1回目のパズル作成を行い、完成したピースの数を数え、目標値の設定をしました。パズルをもっと早く完成させるために、グループごとにつまみかかなかった要因を整理して、真の要因を探し出すべく検証を行い、系統図を活用しながら改善策を深掘りして対策案を検討しました。その後、これらの対策案に基づき対策を実施し、2回目のパズルの作成を行いました。



全グループとも話し合っって決めた対策に効果があり、1回目よりも良い成績となり、大いに盛り上がり達成感を味わいました。



講評：大谷世話人



参加者からの声

「今日学んだ資料やノートを参考にしながら、自分の会社のテーマに取り組みたい」信越化学工業(株) S様

アンケート結果：理解度の平均 (中級コース)

n=22

